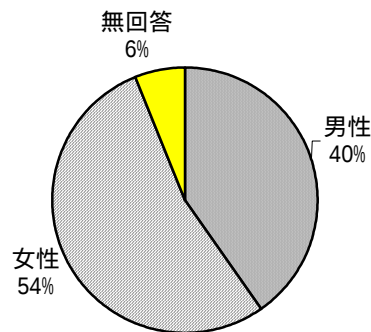


市民活動の推進に関するアンケート調査

1. 調査実施日 : 平成15年7月
 2. モニター数 : 1,000
 (市民を無作為に1,000人抽出し、アンケート用紙を郵送)
 3. 回収サンプル数 : 336 (回収率33.6%)
 4. 有効サンプル数 : 336

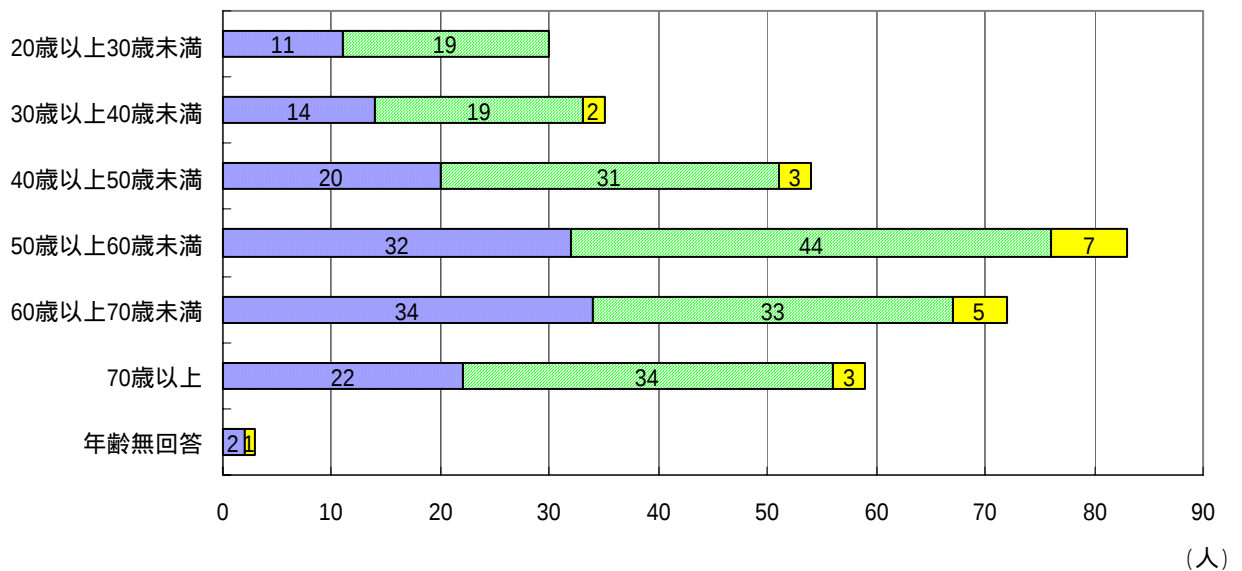
回答者の男女比



回答者の年齢・性別

■ 男 ■ 女 ■ 不明

N = 336



○ 調査結果

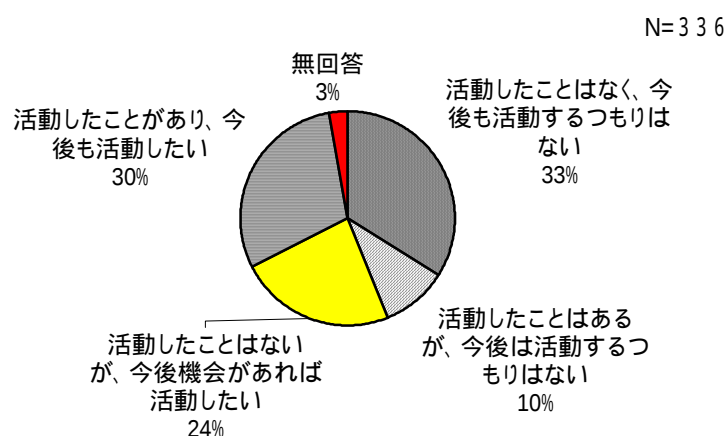
1 「市民活動の支援」について

(1) 「市民活動」の経験の有無

Q1：あなたは、仕事以外でコミュニティ活動、ボランティア活動、NPO 活動などの市民活動をしたことがありますか。

- 「活動したことがあります、今後も活動したい」(30%)で、「活動したことはないが、今後機会があれば活動したい」(24%)も含めると54%が市民活動をしたいと答えている。一方、「活動したことはあるが、今後は活動するつもりはない」は10%で、「活動したことはなく、今後は活動するつもりはない」は33%であった。

Q1：市民活動経験の有無



(2) 活動したい種類と分野

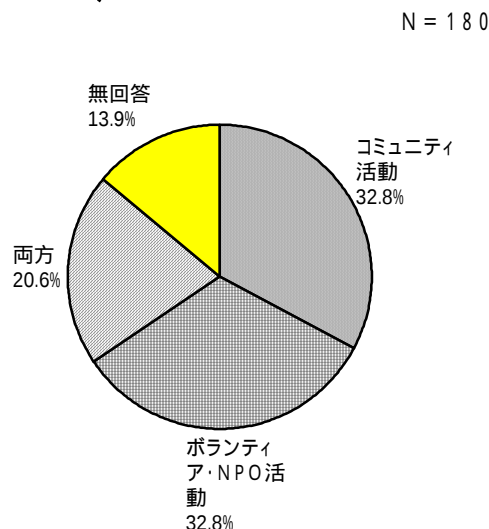
【Q1で「今後も活動したい」、「今後機会があれば活動したい」と回答した方への問】

Q2：あなたは、どのような種類と分野で活動したいですか。(複数回答可)

活動の種類

- 「コミュニティ活動」、「ボランティア・NPO活動」共に、32.8%で同じ割合で、両方の活動を選んだ人は、20.6%であった。

Q2 - :活動の種類

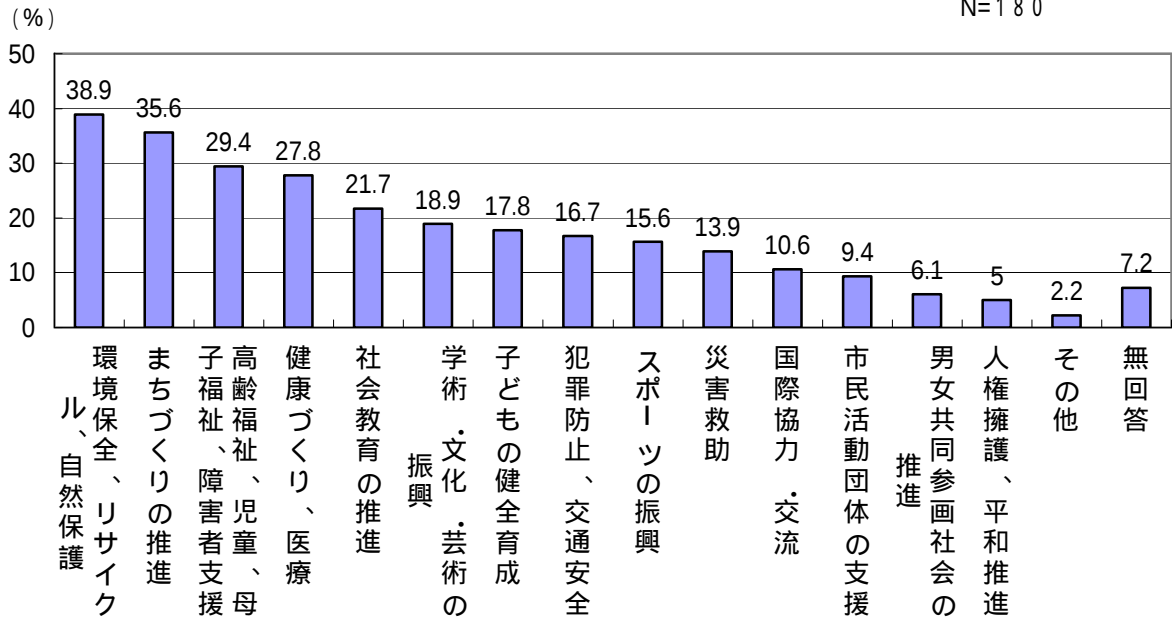


活動の分野

- 「環境保全、リサイクル、自然保護」(38.9%)が1番多く、2番目が「まちづくりの推進」(35.6%)、3番目が「高齢福祉、児童・母子福祉、障害者支援」(29.4%)、次いで「健康づくり、医療」(27.8%)、「社会教育の推進」(21.7%)、「学術・文化・芸術の振興」(18.9%)、「子どもの健全育成」(17.8%)、「犯罪防止、交通安全」(16.7%)、「スポーツの振興」(15.6%)と続いた。

Q2 - : 今後活動したい分野

N=180

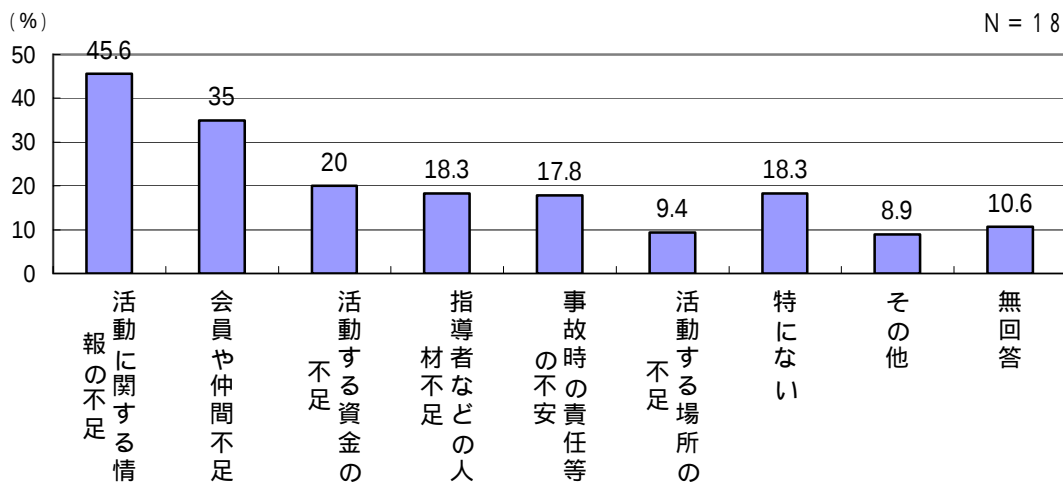


Q3: 活動を行う上での問題点は何かありますか。(複数回答可)

- 「活動に関する情報が不足している」、「一緒に活動する会員や仲間が集まりにくい」がそれぞれ45.6%、35%と上位を占めた。

Q3: 活動を行う上での問題点

N = 180



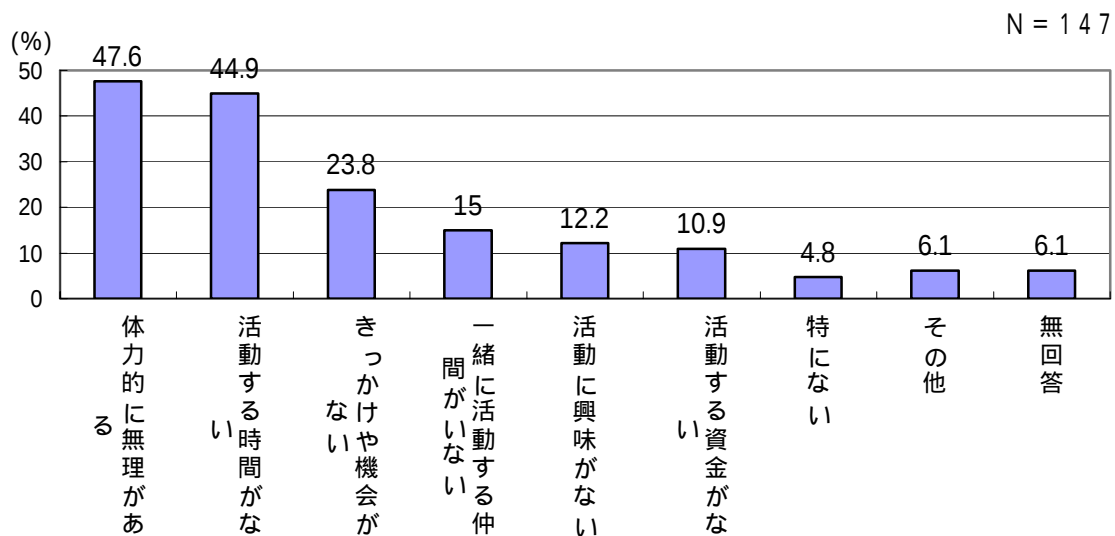
(4) 活動をするつもりがない理由

【Q1で「活動するつもりはない」と回答した方への問】

Q4：その理由は何ですか。（複数回答可）

- 「活動するつもりがない」と回答した人の理由としては、「体力的に無理がある」（47.6%）が1番多く、「活動する時間がない」（44.9%）、「きっかけや機会がない」（23.8%）と続いた。

Q4：活動をするつもりがない理由

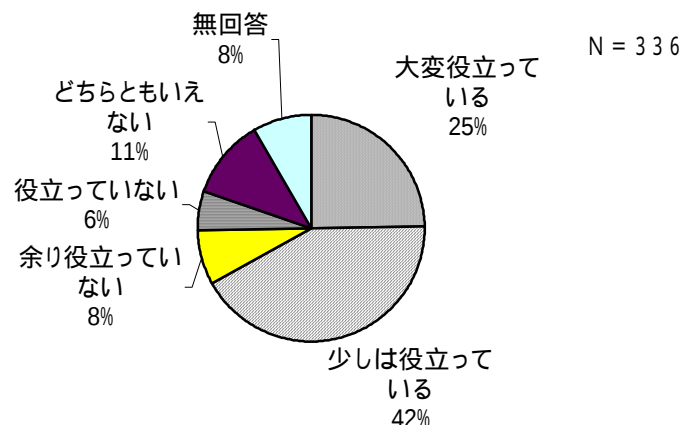


(5) 市民活動の地域活性化への寄与

Q5：あなたは市民活動が地域の活性化に寄与していると思いますか。

- 「少しは役立っている」（42%）、「大変役立っている」（25%）で、役立っていると考えている人が67%と大勢を占めたものの、「役立っていない」と思う人も6%いた。

Q5：市民活動の地域活性化への寄与度



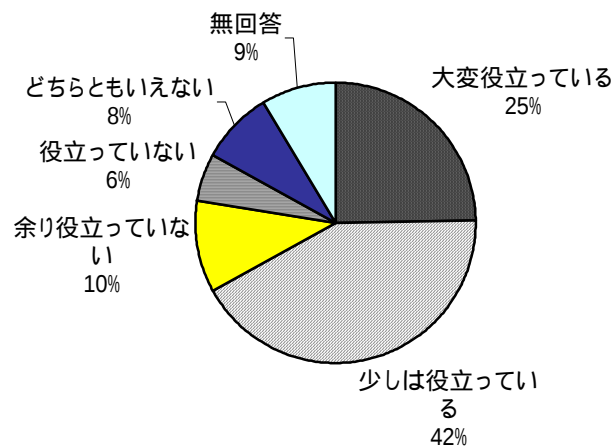
(6) 市民活動の社会問題の解決への寄与

Q 6 : あなたは市民活動が環境保全や交通安全などの社会問題の解決に寄与していると思いますか。

- 「少しは役立っている」(42%)、「大変役立っている」(25%)で、役立っていると考えている人が67%で大勢を占めたものの、「役立っていない」と思う人も6%いた。

Q 6 : 市民活動の社会問題解決への寄与度

N=336



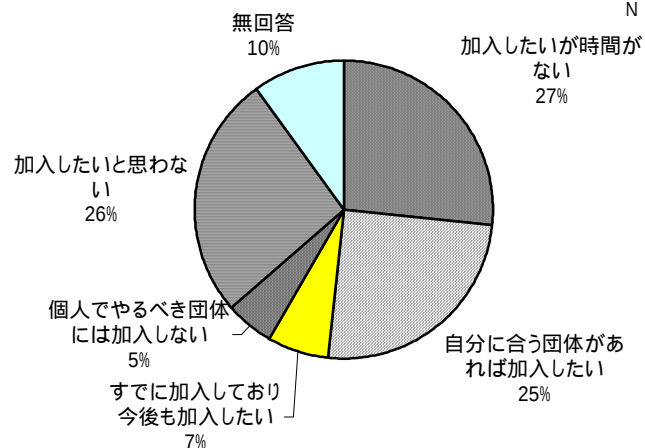
(7) 市民活動を行っている団体への加入

Q 7 : あなたは市民活動を行うことを主目的としている団体への加入について、どう思われますか。

- 「加入したいが時間がない」(27%)が1番多く、2番目が「加入したいと思わない」(26%)で、3番目が「自分に合う団体があれば必ず加入したい」(25%)であった。

Q 7 : 市民活動団体への加入の意思

N = 336



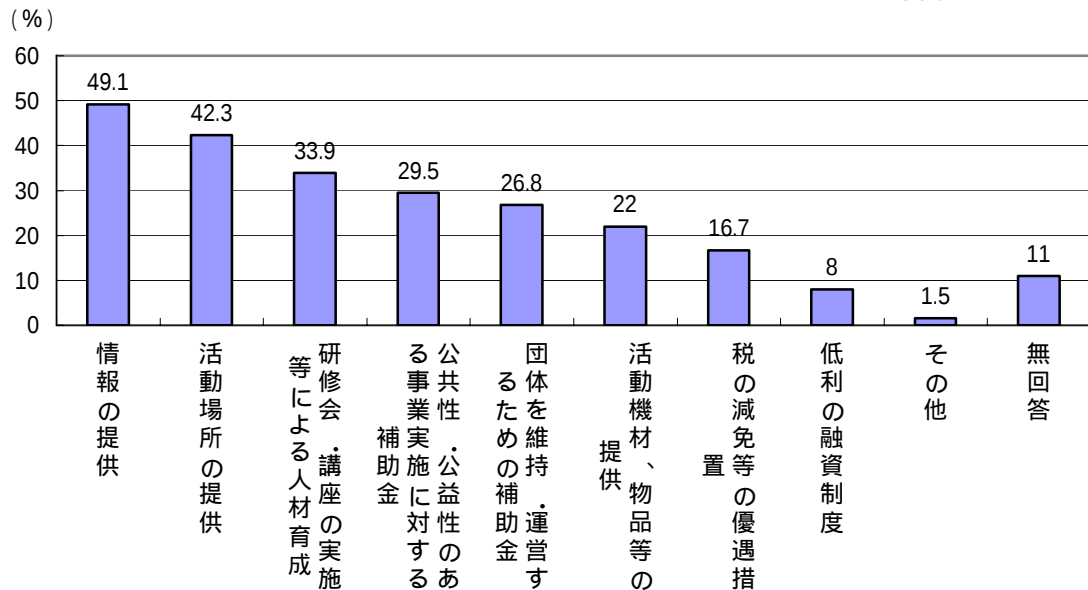
(8) 市民活動団体に対する行政からの支援

Q 8 : 市民活動団体に対する行政からの支援には様々なものが考えられますが、あなたは、どのような支援が必要だとお考えですか。(複数回答可)

- 「情報の提供」(49.1%) が1番多く、2番目が「活動場所の提供」(42.3%)、3番目が「研修会、講座の実施等による人材育成」(33.9%)と続いた。次に、「公共性・公益性のある事業実施に対する補助金」(29.5%)、「団体を維持・運営するための補助金」(26.8%)、「活動機材、物品等の提供」(22%)と続いた。

Q8:必要な行政からの支援

N=336

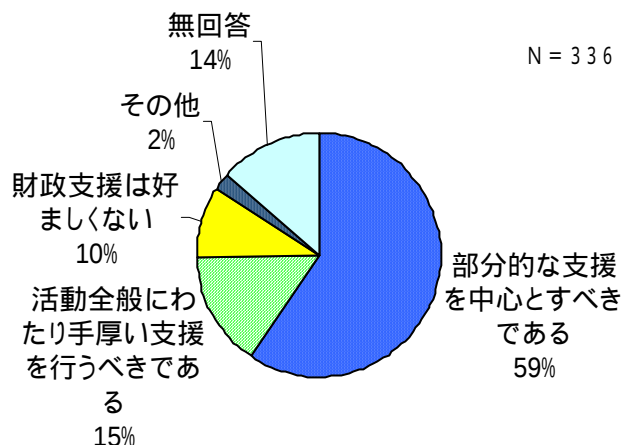


Q 9 : 市民活動団体に対する行政からの補助金などの財政支援について、どう思われますか。

- 「公益性の高い事業等について一部補助を行うなど、市民活動団体の自主性・主体性を尊重した部分的な支援を中心とすべきである」(59%) が1番多かった。

Q 9 : 財政支援について

N = 336



(10) 自由意見

Q10：市民活動の推進について、ご意見・ご提言を自由にお書きください。

- 「市民活動に関する情報の積極的な提供」に関しては入手したい情報が多岐にわたっており、例えばどういう活動団体があるか、その活動内容はどのようなものか、また補助金がどのような使われ方をしているかなどの情報の提供をしてほしいとの意見が一番多かった。
- 「身近な所からボランティアをしよう。」に関しては、身近な所から始めている人や始めたいと思っている人、校区内の花壇の手入れをしている人など、自主性・主体性の意識をもって活動に取り組むことが大切だという意見があった。
- 「行政のバックアップ・資金面でのサポート」についてはしっかり出して上げて欲しいという意見の一方で、交通費に留めるべきだと言う意見や、一切もらうべきではないという意見もあった。

<主な自由意見>

- ・ 市民活動に関する情報の積極的な提供 （ 20 件）
- ・ 身近な所からボランティアをしよう （ 14 件）
- ・ 行政のバックアップ・資金面でのサポート （ 9 件）
- ・ 子供・若年層の参加促進 （ 6 件）
- ・ 研修会の実施・指導者育成 （ 3 件）
- ・ 行政の積極的な市民活動参加 （ 2 件）
- ・ 誰でも参加しやすい環境・組織・活動作り （ 2 件）
- ・ 活動団体は内部の上下関係があり、一部会員で活動している （ 2 件）
- ・ 押しつけの市民活動や、活動の義務化には反対 （ 2 件）
- ・ ボランティア休暇等、制度の実施に当たっての行政指導の必要性 （ 1 件）
- ・ 市民活動をする人に対して、税の減免等の優遇措置 （ 1 件）

宇部市市民生活部市民活動課

〒755-8601 山口県宇部市常盤町1丁目7番1号

TEL : (0 8 3 6) 3 4 - 8 2 3 3

FAX : (0 8 3 6) 2 1 - 1 1 0 6

E メールアドレス : comu@city.ube.yamaguchi.jp

平成16年(2004年)9月発行